

社会的認証報告書（科目認証制度）

（科目区分：「政策基礎としての社会人基礎力」）

科目名：地域企業（自治体）のお題解決プログラム

担当者：松本剛、宮里大八

科目グループ：なし

※科目区分が「政策得意分野づくり」の場合に記載されます。

基準項目	評価要素	コメント・評価	評価
基準 1-1	・ 科目を設置する目的として、明確な教育目標と育成する人材像を説明しているか。	科目説明書より地域公共政策士の学習アウトカムを踏まえた具体的な教育目標、人材像が説明されていることを確認した。	A
	・ 当機構が定める学習アウトカムの定義から、学習アウトカムの定義が定められているか。	科目説明書より地域公共政策士の学習アウトカムの定義から学習アウトカムが設定されていることを確認した。	A
基準 2-1	・ 学習アウトカム達成の視点から科目で実施する教育内容について説明されているか。	科目説明書より、地域可あぢを取り扱いながら課題解決に向けた提案までを実践できる教育内容が説明されており、学習アウトカムを達成していく教育内容が説明されていることを確認した。	A
	<p>・ 教育要素の科目要件に沿って具体的な教育内容が説明されているか（基準 2-2 の科目内容と合わせて評価する）。</p> <p>・ 科目別の評価要素</p> <p>教育内容に関する評価目安として、教育要素に基づく科目要件の確認項目のうち、1 項目の欠損で指摘事項、2 項目の欠損で改善勧告、3 項目の欠損で保留とする。</p> <p>・ 学習者による現場での主体的な教育内容が含まれているか。</p> <p>・ 教育のなかで、チームビルディングやリーダーシップ、コーディネイト能力、コミュニケーション力を発揮する工夫がなされているか。</p> <p>・ 地域政策を踏まえて、政策問題を把握し、問題解決を試みる工夫がなされているか。</p> <p>・ 学習アウトカム評価に関する設問が適切に設定されているか。</p>	<p>「政策基礎としての社会人基礎力」の教育要素に対して、実際の課題解決に向けた提案を目指して分析手票や課題把握の方法、課題解決に向けた具体的な実践活動を踏まえた教育内容であることが確認できる。学習者はワーキンググループの一員となり地域課題に触れながら提案するまでを体験できるとともに、複数の地域が科目の中で用意されており、学習者の関心に応じた対応が取られている。</p> <p>また、実践活動を具体的に推進するために大学コンソーシアム沖縄と連携をはかるなどの体制が構築されている点も評価すべき点であり、持続的な実践活動が期待できる。なお、科目担当者としてファシリテーター実践者や、観光プロジェクトに関する実務家、島嶼課題に関する専門家を配置し、学習アウトカムを意識した教育体制を整えており、高く評価すべき点である。</p>	AA
基準 2-2	・ 科目の教育内容について、時系列にそった説明ができていますか。	科目説明書及び添付資料より、科目の教育内容について、時系列に沿った説明がされていることを確認した。	A
	・ 科目の教育内容を踏まえて、学習アウトカムの自己評価に関する設問が適切に作成されているか。	科目に設定した学習アウトカムと科目内容を踏まえた具体的な設問が設定されていることを確認した。	A

基準 2-3	<ul style="list-style-type: none"> 学習アウトカムの達成という視点から授業形式について説明されているか。 	科目説明書及び添付資料より、これまでに確認した科目内容に対応した講義形式が説明されていることを確認した。	A
	<ul style="list-style-type: none"> 授業形式と科目担当者の資質が説明されているか。 	科目説明書及び基礎データより、講義内容と科目担当者の専門性が一致していることを確認した。 また、講義目的を達成するために専任教員と実務家が連携した教育体制が構築されており、実践的な学習アウトカムの獲得が期待できる。	AA
基準 2-4	<ul style="list-style-type: none"> 対象とする学習者が想定されているか。 	科目説明書及び添付資料（資料①）より、科目の対象者を明確に定めていることを確認した。 なお、本科目は社会人向けの公開講座としても開講されており、適切に周知されていることも確認した。	A
	<ul style="list-style-type: none"> 想定した学習者に対応した開講形態がとられているか。 	科目説明書及び添付資料（資料①）より、上記の対象者に対応した開講形態がとられていることを確認した。	A
	<ul style="list-style-type: none"> 学習者が科目を受講する手続きについて説明がされているか。 	科目説明書及び添付資料（資料②）より、科目受講者の登録方法などの手続きが定められていることを確認した。	A
基準 3-1	<ul style="list-style-type: none"> 成績評価の基準と方法を定めているか。 	科目説明書及び添付資料（資料①）より、成績評価の基準と方法が定められていることを確認した。 なお、公開講座の成績評価方法が明記されていないが、公開講座の受講者はプレゼンテーションやグループ発表により履修評価を実施されることを確認した。 資格教育プログラムの科目であるため、予め受講者が成績評価基準などが事前に明文化して周知されることが望ましい。科目を運用していく中での改善を望む。	B
	<ul style="list-style-type: none"> 成績評価の基準と方法を明文化して学習者に周知する方法が定められているか。 	公開講座の成績評価方法が明記されていないが、公開講座の受講者はプレゼンテーションやグループ発表により履修評価を実施されることを確認した。資格教育プログラムの科目であるため、予め受講者が成績評価基準などが事前に明文化して周知することが基準では求められる。科目を運用していく中での改善を望む。	B
	<ul style="list-style-type: none"> 成績証明書等の発行方法が定められているか。 	大学に所属する学生が正科目として受講した場合は琉球大学の成績証明書にて発行される仕組みである。また、公開講座で受講した学習者の成績証明書は、成績評価と7割の出席率を満たし学習者に、履修証明書が検討される仕組みであることを確認した。	A
基準 3-2	<ul style="list-style-type: none"> 異議申立の仕組みが明文化されているか。 	科目説明書及び添付資料（資料②）より、異議申立てのしくみを明文化していることを確認した。 なお、公開講座の学習者に対しても同様のしくみが適用されるのがエビデンスからは確認できなかったため、わかりやすく周知することが望ましい。	A
	<ul style="list-style-type: none"> 異議申立の制度は、公正な判断を保證できる仕組みとなっているか。 	科目説明書及び添付資料（資料②）より確認した異議申立てのしくみは、第三者性を確保しており公正な判断を担保したしくみであることを確認した。	A
基準 4-1	<ul style="list-style-type: none"> 科目を継続的に管理・運営する体制が整えられているか。 管理・運営する体制の中で、科目を点検し、改善する仕組みが説明されているか。 	科目説明書より、沖縄産学官協働人材育成円卓会議のワーキンググループにて科目を運用し、改善をはかっていく仕組みであることを確認した。	A

	るか。		
--	-----	--	--

評価区分：AAA：基準を満し、実施機関の特色を活かした優れた取り組みが実施されている。AA：準を満し、優れた取り組みが実施されている。A：基準を満している。B：概ね基準を満しているが、部分的な指摘内容がある（指摘事項に相当する点がある）。BB：部分的に基準を満しているが、改善すべき内容がある（改善勧告に相当する点がある）。BBB：基準を満していない（保留に相当する内容がある）。

認証結果

評価結果	適合（指摘事項付き）
認証期間	2018年4月1日～2025年3月31日
科目認証番号	K180024
指摘事項	<p>・公開講座における成績評価方法や成績評価基準などを含む資格教育プログラムとして科目修了要件を学習者に明文化して周知する必要がある。</p> <p>以上を科目を運用していく中で改善していくとが求められる。</p>
勧告事項	
評価すべき点	<p>地域社会が抱える課題に学習者が触れながら体験できるよう工夫されており、社会人基礎力の科目としてふさわしい教育内容でした。また、評価対象としたシラバスでは8つの異なる地域課題とその受け入れ先が用意されており、地域と大学が連携しながら地域課題の解決に向けた体制が整えられている点は、琉球大学が地域連携に取り組んできた過去の実績に基づく成果だといえます。今後も科目での実践を通じて地域自治の担い手が学生と住民との間で進んでいくことが期待されます。</p>
助言・課題	<p>公開講座の成績評価方法の明示についてホームページでは主な内容の公開であることを調査の中で確認しました。指摘事項への対応は、ホームページの修正を伴うことも予測されるため早急な対応は難しいことも予想されます。</p> <p>そのため対応策として講座の冒頭に資格科目として取り組む学習者に「ガイダンス資料」として成績評価方法などを明文化して配布する方法も考えられます。科目を運用していく中での改善に期待しています。</p> <p>また、公開講座の学習者が添付資料と同様の「成績評価不服申立制度」の適用を受けられるかが不明確な印象をうけました。講座の冒頭にガイダンス資料として公開講座の学習者向けに異議申立についての続きを明文化して配布する方法も考えられます。</p>

以上